



石山寺

平安時代の学僧 朗澄律師の遺徳をしのぶ
青鬼まつり 5月21日(日)

会場：石山寺 東大門前 (法要)9時30分～ (青鬼太鼓・おどり奉納)10時～



▲新緑の下を進む御練(おねり)

青鬼まつりは、死後も鬼となって石山寺と聖教を守り続けていると伝わる、平安時代の学僧 朗澄律師の遺徳を称えるお祭りです。東大門前に建てられた大きな青鬼像の前で法要が営まれ、そのあと地元の子供たちによる「青鬼太鼓」や「青鬼おどり」が奉納されます。

大団扇で扇がれる「降魔招福」の薫風は無病息災のご利益があるとされています。



▲杉の葉で作られた5mの青鬼像



▲「青鬼太鼓」の奉納

「あお若葉」をさらに楽しむ二寺の行事

この時期、二寺では歴史のあるお祭りが行われます。



三井寺

千個の団子を鬼子母神に供える600年以上続く祭礼
千団子祭 5月13日(土)10時開扉法要 14日(日)16時閉扉

会場：三井寺 護法善神堂



▲護法善神立像(ごほうぜんしんりゅうぞう)

三井寺・護法善神堂の本尊である鬼子母神・護法善神立像(ごほうぜんしんりゅうぞう)の祭礼で、子供の健やかな成長を願います。鬼子母神の1,000人の子を供養するため色とりどりの1,000個の団子を供えることから、「千団子祭」と呼ばれています。同祭に合わせて、護法善神立像の御開帳法要も行われ、放生池では、亀の甲羅に墨で子供の名前と年齢を書いて池に放ち、子供の無病息災を祈願する放生会が行われます。



▲護法善神立像の御開帳法要



▲子供の無病息災を祈願する放生会

二寺を巡る

「あお若葉の競演」限定御朱印

大本山 石山寺

「多宝塔」多宝塔本尊である大日如来の御朱印にあお若葉の印授与 石山寺本堂 志納料 300円

総本山 三井寺

三井寺百体堂の百観音とあお若葉の印授与 三井寺金堂 志納料 300円

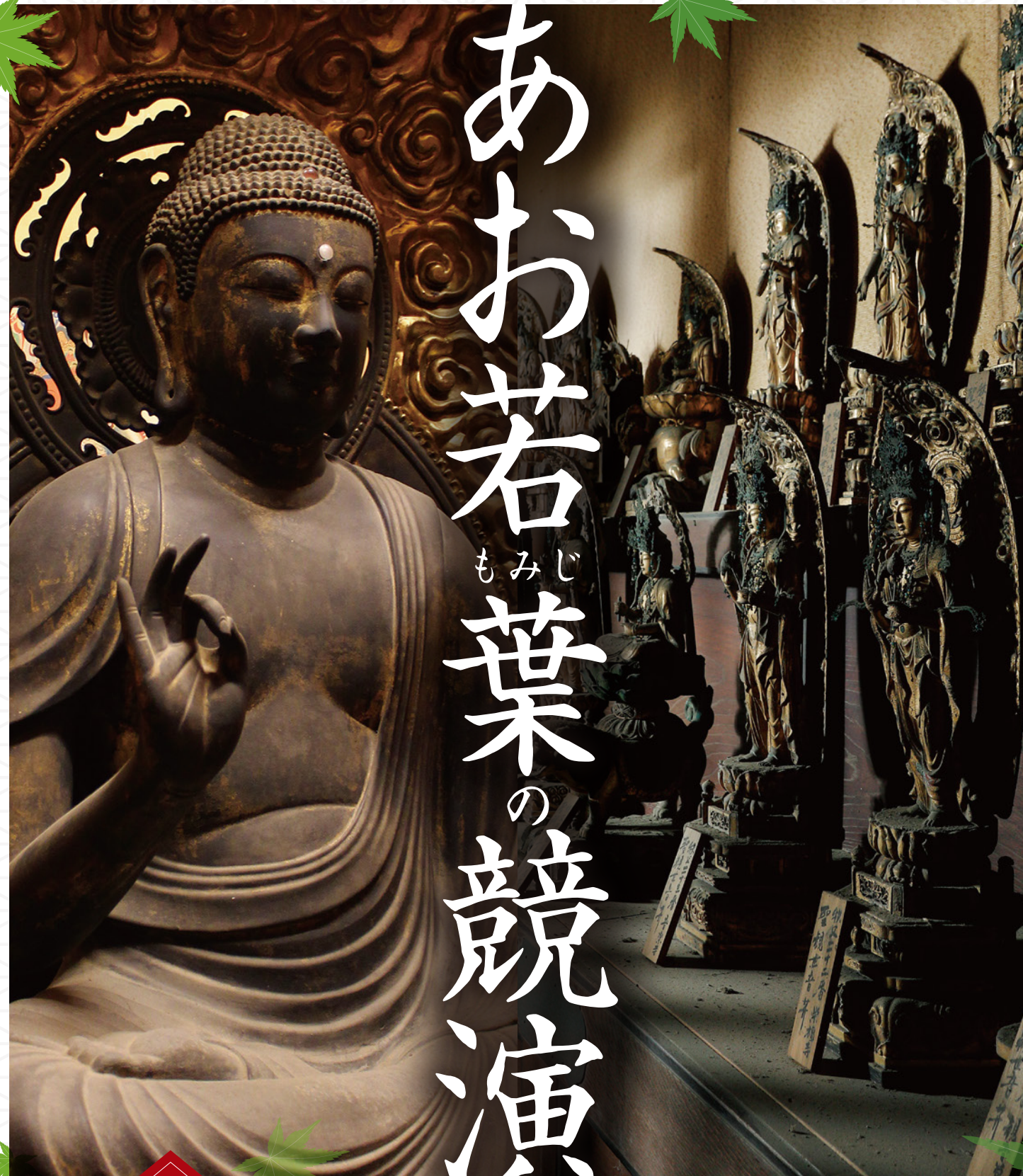
二寺を学ぶ

スマホアプリのガイド 「びわ湖大津歴史百科」

滋賀県大津市の石山から浜大津地区に点在する、豊富な文化遺産の情報を発信するアプリです。無料でダウンロードしていただけます。アプリを起動させた状態で登録された文化遺産に近づく、解説が表示されますので、大津の歴史を発見し、楽しく学びながら巡る事ができます。

アプリダウンロードQR

石山寺と三井寺の境内マップが用意されているので、詳しい説明を見ることができます。



あお若葉の競演



期間中、各寺入山料が100円引きとなる共通入山券を販売しております。各寺志納所でお買い求めいただけます。
◇あお若葉の競演 石山寺・三井寺共通入山券 1,000円 (通常価格 1,200円)

大本山 石山寺

- 所在地 〒520-0861 滋賀県大津市石山寺1-1-1
- 時間 8時～16時30分(最終入山16時)
- 電話 077-537-0013(石山寺)／077-537-1105(石山観光協会)
- 入山料 大人 600円(個人)／500円(団体)
(団体=30名以上) 中高生 600円(個人)／350円(団体)
小学生 250円(個人)／200円(団体)

◇ホームページ

石山寺 検索

https://www.ishiyamadera.or.jp/

総本山 三井寺

- 所在地 〒520-0036 滋賀県大津市園城寺町246
- 時間 8時～17時(最終入山16時)
- 電話 077-522-2238
- 入山料 大人 600円(個人)／550円(団体)
(団体=30名以上) 中高生 300円(個人)／250円(団体)
小学生 200円(個人)／150円(団体)

◇ホームページ

三井寺 検索

http://www.shiga-miidera.or.jp/



滋賀県 大津の古刹 石山寺 三井寺

あお若葉の息吹に、癒しを感じる——

初夏の特別公開

2023 4月22日(土)～5月21日(日)

<主催> 大本山 石山寺／総本山 三井寺 <共催> 一般社団法人石山観光協会

石山寺

大本山
西国第13番札所
源氏物語 紫式部ゆかりの花の寺

石山寺は、清流瀬田川のほとり、伽藍山（標高239m）の麓にあり、奈良時代から観音の聖地でありました。縁起によれば、石山寺は天平19年（747）、聖武天皇の勅願で良弁僧正が創建とされています。

現在、本堂に安置されている本尊如意輪観音（重文）は、日本唯一の勅封の秘仏と言われ、開扉は33年毎。安産、福德、縁結びなどに靈驗あらたかな仏さまとして信仰を集めています。

平安時代には貴族達の間で石山詣が盛んになり、紫式部は当時参籠の祈に、『源氏物語』の着想を得たと言われています。他にも『枕草子』『蜻蛉日記』『更科日記』などの文学作品に登場するなど、石山寺は平安王朝文学の開花の舞台となりました。また学問の寺として絵画・聖教・典籍など数多くの歴史的な寺宝を有します。



▲多宝塔（国宝）と礎灰石（天然記念物）



▲本堂（国宝）

特別公開
拝観期間…令和5年4月22日(土)～5月21日(日)

光堂（特別公開）での三尊特別公開

光堂外観

この時期だけ特別に公開される光堂の特別拝観。光堂本尊の阿弥陀如来坐像（鎌倉時代）、旧多宝塔の本尊と伝わる大日如来坐像（平安時代・重文）、淀殿寄進による如意輪観音半跏像（桃山時代）にお参りいただけます。また今年は「大随求菩薩坐像」初公開。胎藏曼荼羅の蓮華部院に在し、観音菩薩の化身身です。

- 拝観時間：9時～16時（光堂は15時30分最終入堂）
- 拝観料：500円



▲大日如来坐像

▲如意輪観音半跏像

内陣特別拝観 弥勒菩薩坐像 会期：令和5年4月12日(水)～6月30日(金)

弘法大師生誕1250年、真言宗開宗1200年を迎える今年、新造の弥勒菩薩坐像をご寄進により本堂にお納めすることとなりました。この仏さまは未来に悟りを開くと言われる仏さまです。不安の多い世の中に、未来の希望を込めてお参りいただければと思います。

あわせて期間・数量限定の御朱印「未来仏」も授与いたします。（書置きのみ・1,000円）

- 会場：石山寺 本堂内陣
- 特別拝観料：大人 500円 小人 250円
- 拝観時間：8時～16時

▲本陣内陣

特別公開 春季 石山寺と紫式部展 「石山寺縁起絵巻誕生700年へ」 会期：令和5年3月18日(土)～6月30日(金)



▲石山寺縁起絵巻第五巻第一段

正中年間（1324-26）、石山寺の創建や本尊・観音菩薩の靈驗、各時代の貴顕の参詣を記した石山寺縁起絵巻の制作が始まりました。来年にはその誕生より700年を迎えます。これを記念して、重要文化財・石山寺縁起絵巻を始め、江戸時代に制作された模本や関連資料、煌びやかな宝物の数々を展示いたします。

- 会場：石山寺 豊浄殿
- 拝観時間：10時～16時（最終入館は15時45分）
- 拝観料：300円（小学生150円） ※別途入山料が必要



期間限定 専属ボランティアガイドによる

初夏の石山寺 特別拝観をめぐるツアー

初夏の石山寺では行事が目白押し。そんな各行事を石山寺専属のガイドが丁寧にわかりやすくご案内します。

- 4月22日(土)～5月21日(日)の土日祝
- 午前の部／10時10分～／午後の部／13時～（各部約90分）
- Aコース2,400円 Bコース2,100円（入山料・ガイド料等込み）

■ Aコース「石山寺の仏様・宝物をめぐる」

本堂内陣拝観→豊浄殿「石山寺と紫式部展」→光堂特別拝観

■ Bコース「石山寺の靈石をめぐる」

本堂内陣拝観→光堂特別拝観→石山寺靈石めぐり等

【お申し込み】（一社）石山観光協会 電話077(537)1105 （参加される1週間前までに申し込み必要）



期間限定

あお若葉のおもてなし

期間中、石山寺の門前のお店では「あお若葉の競演」にちなんだメニュー、商品をご用意しています。お寺の拝観のあとに、ぜひお立ち寄りください。各お店の詳細はホームページで紹介しています。

湖国の名勝、琵琶湖を見下ろす近江の古刹



▲観月舞台



▲仁王門（重文）

特別公開
拝観期間…令和5年4月22日(土)～5月21日(日)

国宝・金堂内陣特別拝観

金堂（国宝）

三井寺には全国的にも珍しい百体（西国三十三・坂東三十三・秩父三十四）の各観音霊場の御本尊の模刻像）の観音様をお祀りしたお堂があります。今春、西国三十三所草創1300年を記念し三井寺百体観音堂のすべての仏さまを国宝の金堂内陣に遷座し参拝の皆様と法縁を結んでいただきます。

- 拝観時間：8時30分～16時30分
- 拝観料：500円

百体観音

特別公開 智証大師円珍 関係文書典籍公開



- 会場：三井寺 文化財収蔵庫
- 拝観時間：8時～17時
- 拝観料：300円 ※別途入山料が必要



2021年11月、三井寺が所蔵する国宝の史料群が「智証大師円珍関係文書典籍 日本・中国の文化交流史」としてユネスコの「世界記憶」の国際登録に向けて国内候補に選定されました。今回その史料群の一部を文化財収蔵庫にて一般公開いたします。（2022年5月末認定予定）

三井寺

総本山
西国第14番札所
近江大津京ゆかりの古刹

天台寺門宗の総本山。境内に天智・天武・持統の三天皇の御産湯に用いられたとされる霊泉（井戸）があることから、「御井（みい）の寺」と称され、後に「三井寺」と通称されるようになりました。

国宝の金堂を始め、西国第十四番札所の観音堂、釈迦堂、唐院など多くの堂舎が建ち並び、国宝・重要文化財は100余点を数えます。

三井寺は、7世紀に天智天皇ゆかりの寺として創建され、その後、第5代天台座主・智証大師円珍（814～891年）によって発展の基礎が築かれ、日本を代表する「本朝四箇大寺」に数えられる大寺院となります。長い歴史のなかで度々戦禍を蒙りますが、その都度、復興したことから「不死鳥の寺」とも呼ばれています。



▲三井寺百体観音



5月13日(土)限定 三井寺自然茶会

三井寺境内に自生する古樹から摘んだ新芽を釜炒りした出来立ての緑茶を味わってください。また同じ茶樹から摘んだ烏龍茶、紅茶も飲みくらべていただけます。三井寺でもっとも神聖な場所で新緑の三井寺を感じてください。

- 開催場所：財林坊（通常非公開）
- 午前の部／10時30分～12時 午後の部／14時～15時30分（各回とも限定8名）
- 費用：お一人様8,000円（茶葉 山川の和菓子付）

【お申し込み】三井寺事務所 電話077(522)2238